



会費改定のご提案

～「縮小」から「発展」へ：次世代に繋ぐ、魅力ある技師会の創生に向けて～

一般社団法人 千葉県臨床検査技師会
会長 布施 義也

私たちが直面している「岐路」

本日の目的は、単なる「値上げのお願い」ではありません。
会員サービスを守り、さらに拡充するための
「未来への投資」のご提案です。

現状維持

構造的な赤字による
「事業縮小」と「活動の停滞」

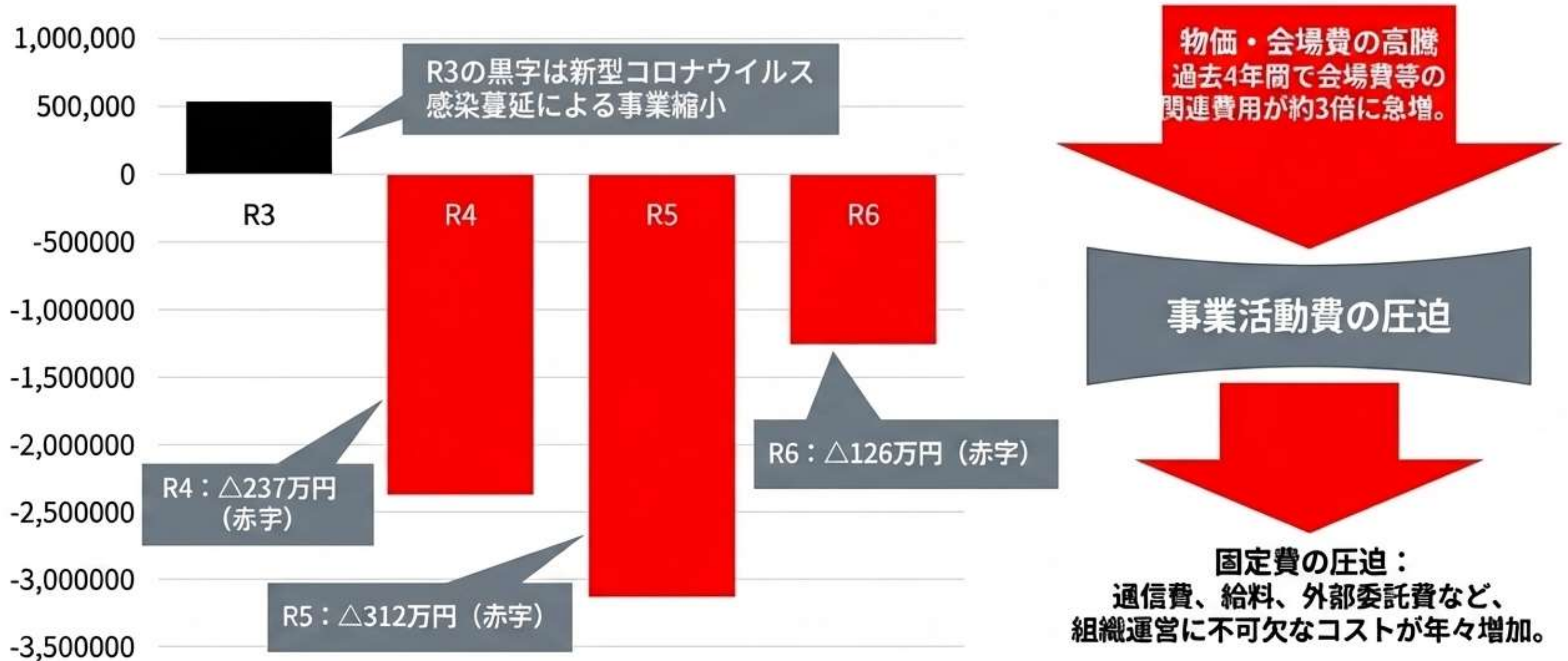
変革と投資

会員への直接還元と
「魅力ある技師会」への発展

予算総会や各地区会議等で頂いたご意見を踏まえ、理事会として承認した「会費改定案」とその「明確な用途」をご説明いたします。



直視すべき現実：限界を迎えた「構造的赤字」



これまでの経費削減努力はすでに限界に達しており、現行の会費水準(全国最低水準)では健全な運営維持が困難な状況です

令和7年度「黒字」の裏側

令和7年度決算見込み：
約471万円の「黒字」

1. **教育・研究関連予算の激減**：
総額で「約180万円」の大幅削減（学習・スキルアップ機会の直接的な喪失）。

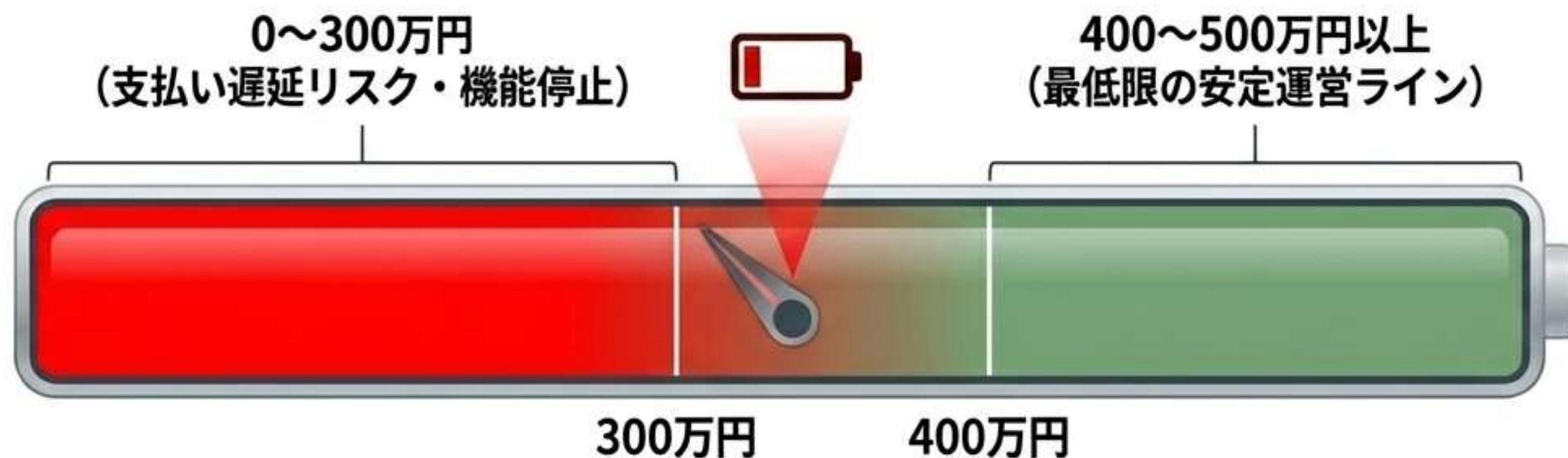
情報発信の低下：会誌の完全電子化および定期発送の中止。

3. **自己負担の強要**：役員らの活動関連費用の停止、対外活動の自己負担化。

参加費の負担増：千臨技学会参加費の値上げ。

この黒字は「**徹底した事業縮小と自己犠牲**」の産物です。身を削る運営はすでに持続不可能であり、これ以上の削減は**組織の死（機能停止）**を意味します。

安定運営の絶対条件：枯渇するキャッシュフロー



なぜ資金が必要なのか

支払いの滞りを防ぎ、法人として正常に機能し続けるためには、常に【最低400～500万円】のキャッシュフロー（手元資金）が必要です。

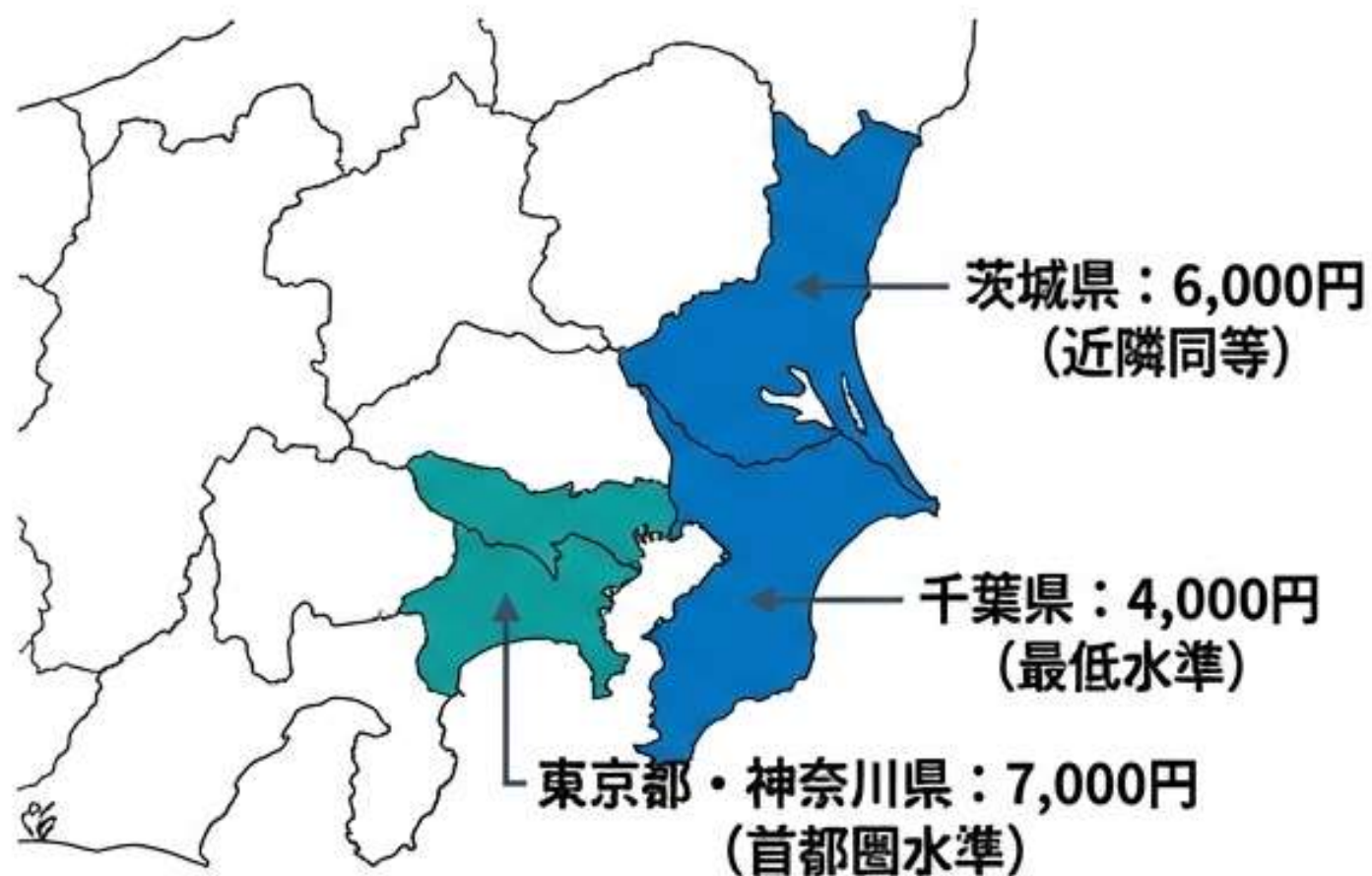
現状のままでは

現行の会費のまま赤字運営を続ければ、遠からずこの資金が枯渇し、技師会としての活動そのものが停止するリスクを抱えています。

会費改定案と、近隣都県との客観的比較

正会員年会費：現行 4,000円 → 改定案 6,000円 (+2,000円)

適用時期：令和9年度より（令和8年5月総会での承認が前提）



都道府県	年会費 (円)	備考
千葉県 (現行)	4,000	最低水準
千葉県 (改定案)	6,000	全国標準水準へ調整
茨城県	6,000	近隣団体
東京都/神奈川	7,000	首都圏

極端な値上げではなく、時代に即した「全国標準水準への適正化」であり、
会員負担に配慮しつつ必要なサービス向上を図るための現実的なラインです。

パラダイムシフト：「維持費」から会員への「投資」へ

増収見込みの【年間約540万円】（2,700名想定）は、単なる赤字の穴埋めではなく、すべてを会員満足度向上のための「4つの柱」に投資します。



投資①：学術活動の充実と会員サービスの向上（40%）

現在（予算の限界）

回数の制限、外部講師の断念、研修会参加費自己負担。

研修会の「原則無料化」

座学形式の研修会参加費を原則無料とし、学びのハードルを完全撤廃します（※実技講習や高額な外部講師の場合等を除く）。会員の皆様への直接的な還元です。

研究班活動の再活性化

単なる回数増ではなく「質の向上」。予算不足で断念していた外部講師の招聘や、新規企画の実施を強力に支援します。

主催研修の強化

医療安全、人材育成、災害対策など、各研究班単独では難しい「横断的で質の高い技師会主催研修」を新たに構築します。

投資②：公式LINE等会員周知ツールの充実（20%）



公式LINE等各種ツールの導入

必要な情報を、様々なツールを用いて確実に迅速に皆様へお届けします。

- ・目標：公式LINEの登録数50～70%

ハイブリッド開催環境の常設化

リモート、ハイブリッド、オンデマンドなど、様々な形式な研修会をいつでも円滑に配信・受講できる最新の機材とインフラ体制を整備します。

ITインフラの刷新

ホームページの抜本的改善や、総合等のための電子投票システム導入など、利便性の高いデジタル環境を構築します。

投資③：次世代育成と多様なキャリア支援（20%）

学生・若手時代



青年委員会の活性化、
リーダーシップ教育支援。
学生会員制度の推進、
若手アワードの創設・表彰。

ライフイベント期



「ワークライフ&キャリア
支援委員会」設立。
子連れ参加可能な研修企画、
ライフステージに合わせた
交流の場の創出。

ベテラン・指導者層



後進育成の仕組みづくり、
全ての世代が活躍し、
居場所を見つけられる組織
文化の醸成。

・ワークライフ&キャリア支援

・若手・学生への強力な後押し

投資④：災害対策の実効性強化と組織基盤の整備（20%）

災害対策の強化

いざという時に動ける「災害対策」

- 講習会と委員会予算を分離
- 年1～2回の千臨技独自の現地災害訓練を実施
- 災害時備品の計画的更新
- 緊急拠出金基金の設立



組織基盤・会務効率化



持続可能な会務運営（役員負担の軽減）







• デジタルツール導入や外部サービスの活用

• 業務フローの抜本的見直し

• 無償で尽力している担当理事の過度な事務負担を軽減

• 地区活動（コミュニティ）の活性化支援（4地区持ち回りイベント等）

「守るために縮む道」か、「未来を拓く発展の道」か

	現状維持 (会費4,000円)	会費改定 (会費6,000円)
学術・研修会	予算制限で回数減少・ <u>有料化の継続</u>	 座学の原則無料化・外部講師 招聘など質の大幅向上
情報への アクセス	紙媒体削減により <u>情報が届きにくい</u>	 LINE・アプリ導入で スマホへ迅速かつ確実に到達
キャリア・ 若手支援	予算がなく <u>新規企画の実施が困難</u>	 子連れ参加環境の整備・ 若手アワードの創設 
組織の未来	繰越金が枯渇し、 <u>将来世代にツケを回す</u> 	 健全な財政で、 若手が誇りを持てる組織へ発展

今後のスケジュールと、透明性のあるプロセス



全会員への周知徹底
(現在～)

Step 1: 全会員への周知徹底 (現在～)

一斉メールの送信及び、登録施設と自宅会員に紙媒体の文書を郵送し、情報の不透明さを完全に排除します。ホームページにて詳細資料も公開。



Zoom事前説明会の
4月開催予定

Step 2: Zoom事前説明会 の4月開催予定

リアルタイムでの質疑応答の場（最大500名接続可能）を設け、皆様の疑問に直接お答えします。後日、録画配信も実施予定です。



定期総会での決議
(令和8年5月)

Step 3: 定期総会での決議 (令和8年5月)

会員の皆様の十分なお理解とご納得をいただいた上で、総会におけるご審議・ご決議をお願いいたします。

結びに：次世代に誇れる技師会へ

今回の決断は、今を乗り切るためのものではありません。
千葉県臨床検査技師会（CAMT）を次の世代へ引き継ぎ、
会員の皆様が学び続け、誇りを持てる環境を守るための不可欠なステップです。

事業内容を「縮小」から「発展・拡大」へ。

事業内容を「縮小」から「発展・拡大」へ。

日本一の会員満足度を誇る技師会を目指して。

皆様の深いご理解と、未来への投資へのご協力を心よりお願い申し上げます。